

序文

本論文は、筆者が2007年6月12日に立教大学へ提出した博士学位申請論文「政策展開における観光基本法の指針性及び観光関係法制度の規範性に関する研究」である。2007年10月に上梓するにあたり、横書きを縦書きにすることに伴う変更点以外には、論文の内容及び構成には一切、手を入れていない。

筆者は本論文により、2007年9月に立教大学から「博士(観光学)」を授与された。あらためて、本論文の執筆に際し、お世話になった関係者に熱く御礼を申し上げたい。

本論文は、筆者が立教大学観光学部において観光政策・行政論の講義、高崎経済大学地域政策学部において観光政策論の講義を行うにあたって使用した「観光政策・制度入門」を基礎として博士学位申請論文として発展させたものであり、本論文を出版するにあたっては書名を「観光政策学」とさせていただいた。

本書の出版にあたっては、筆者が奉職する高崎経済大学の学術研究図書観光助成金の助成を受けさせていただいたことに感謝を申し上げる。

2007年10月

高崎経済大学地域政策学部教授

博士(観光学) 立教大学 寺前秀一

謝辞

筆者の公務員人生のスタートは法令検索から始まった。関係省庁からの引用法令照会に答える作業から始まり、法令作成の実務にあたり前例記述の検索作業等に忙殺されたことを思い出す。今日ではインターネットの発達がその単純な作業からの開放を可能とした。本論文の作成に当たっても、IT基本法の指針性のもと電子政策が推進され、自宅にいながらハイスピードでの法令、議事録検索が可能となった。e-Japan 戦略等のIT政策の便益を享受することができたわけである。

本研究論文の作成に当たっては多くの方々のご指導とご支援を受けさせていただいた。立教大学講師(観光政策・行政論)として立教大学図書館等を、日本観光戦略研究所理事として国会図書館等の諸機能を活用させていただいたことにも感謝しなければならない。

溝尾良隆教授、安島博幸教授、松本和幸教授をはじめとした立教大学観光学部及び磯部力学学部教授等の諸先輩にご指導いただいたこと、伊藤達雄名古屋産業大学名誉学長に研究論文作成の意思と機会を与えていただいたこと、筆者が奉職する高崎経済大学に本論文出版の機会を与えていただいたことを特記し感謝する次第である。

最後に、本論文作成の最終段階の2007年4月13日

「真夜さめて 病床にきく 冬の雨 土にかへらむ もののやさしき」
を残して旅立った母・寺前昭子に本論文をささげるものである。

2007年10月

寺前 秀一